



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 サイボー株式会社
 コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 048-267-5151

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,419	2.3	△237	—	△165	—	△150	—
2018年3月期第3四半期	6,274	0.2	124	△82.6	136	△85.0	21	△97.3

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 △359百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 282百万円 (△75.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△11.45	—
2018年3月期第3四半期	1.59	1.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	26,327	15,955	52.9
2018年3月期	27,840	16,536	52.2

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 13,922百万円 2018年3月期 14,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2019年3月期	—	7.00	—		
2019年3月期(予想)				7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当3円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,552	2.9	△186	—	△84	—	△152	—	△11.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	14,000,000 株	2018年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	812,007 株	2018年3月期	816,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	13,185,593 株	2018年3月期3Q	13,237,444 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、海外では米中両国の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題が世界経済に影響を及ぼす懸念材料となり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によるユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みが依然として続いており、厳しい状況で推移しました。一方、不動産活用事業は、イオンモール川口の賃貸借契約が2018年9月に終了した影響はあるものの、イオンモール川口前川や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億19百万円（前年同期比2.3%増）となりました。営業損益は事業別セグメントの概況の② 不動産活用事業に記載のとおり、大型商業施設「イオンモール川口」の賃貸借契約終了の決定により費用が増加したことから、前年同期と比べ3億61百万円利益が減少して2億37百万円の損失となり、経常損益は前年同期と比べ3億1百万円利益が減少して1億65百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては前年同期と比べ1億71百万円利益が減少して1億50百万円の損失となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部の原糸販売は、ニット産地での生地生産調整により売上が減少しました。ポリエステル及びびリン生地は生機を中心に販売が伸び、総じて増収となりました。一方、仕入れ価格の上昇により利益はほぼ前年並みとなりました。

アパレル部は、昨年に引き続きユニフォーム業界が安定している中、法人ユニフォームの直需と百貨店からの新規物件受注により増収増益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品及びOEM商品の販売が伸び増収となり、また不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、服地レースは新規先や資材向けの売上が伸びた一方、付属レースの売上が減少したことから総じて減収となりましたが、営業損失はほぼ前年並みとなりました。

この結果、繊維事業の売上高は38億円（前年同期比6.4%増）となり、営業損失は44百万円改善して7百万円の損失となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」が出来るというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに隣接地に病院施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

「イオンモール川口」は、イオンモール(株)からの申し出により、建物の老朽化及び設備状況や施設運用状況などの協議を重ね総合的に判断し、開店から34年が経過した2018年8月31日にお客様に惜しまれつつ閉店し、同年9月30日に賃貸借契約が終了しました。これにより当該物件の残存耐用年数を賃貸借契約が終了する9月30日までに減価償却が完了するように見直し、建物等の残存価額及び資産除去債務に対応する撤去費用を賃貸借契約が終了する9月30日までに費用処理するために加速償却を実施しました。以上により、「イオンモール川口」に係る費用は従来に比べて8億97百万円増加しております。再開発については当該跡地を含む周辺一帯をイオンモール(株)と共同で新たな商業施設としての検討を進めております。

その他未活用不動産の活用については、収益性はもちろん地域社会に貢献できる施設を検討しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は19億18百万円（前年同期比4.8%減）、営業損益は4億26百万円利益が減少して2億99百万円の損失となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は夏の猛暑や、川口グリーンゴルフ練習場において打席設備の一新や稼働システムの更新を進めている影響から、入場者が減少し減収となりましたが、費用の削減効果が表れて、増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は6億63百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は60百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用の花卉ギフト及び歳暮ギフト販売に注力しましたが、売上は前年並みとなりました。一方で経費を削減し営業損失が縮小しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工は増えたものの、大口物件の受注の減少を埋めることができず、減収減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は3億22百万円(前年同期比44.2%減)、営業利益は8百万円(前年同期比75.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、繰延税金資産が増加したものの、現金及び預金の減少やイオンモール川口に係る建物等の残存価額や資産除去債務に対応する撤去費用を2018年9月30日までに減価償却が完了するように加速償却している影響から、前連結会計年度末に比べ15億13百万円減少して263億27百万円となりました。

負債は、預り保証金や長期借入金の返済による減少により、前連結会計年度末に比べ9億32百万円減少して103億71百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上やその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億81百万円減少して159億55百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ5億33百万円減少して19億1百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第3四半期連結累計期間に比べ5億10百万円増加して6億8百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上があったものの、加速償却により減価償却費が増加したことや法人税等の支払額が減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第3四半期連結累計期間に比べ85百万円減少して4億58百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入が減少したものの、有形固定資産や投資有価証券の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第3四半期連結累計期間に比べ9億91百万円増加して6億83百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

なお、前連結会計年度に「イオンモール川口」の賃貸借契約終了が2018年9月30日に決定したことから、当該物件の残存価額及び資産除去債務に対応する撤去費用を同月までに減価償却が完了するように加速償却(減価償却費の追加計上)を行っております。この影響から第2四半期連結累計期間に、損失の増加がピークを迎え、2018年10月以降は「イオンモール川口」の賃貸収入が無くなりましたが、前述しました加速償却を行わないことで、ピークに比べ損失が圧縮される見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695,080	2,151,548
受取手形及び売掛金	960,583	976,509
有価証券	50,260	19,686
商品及び製品	1,190,307	1,183,909
仕掛品	15,226	16,287
原材料及び貯蔵品	32,272	34,290
その他	225,850	241,670
貸倒引当金	-	△2,857
流動資産合計	5,169,581	4,621,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,726,677	8,629,726
土地	6,929,229	7,295,223
その他（純額）	640,929	413,062
有形固定資産合計	17,296,835	16,338,012
無形固定資産	14,518	35,764
投資その他の資産		
投資有価証券	4,716,200	4,328,995
その他	670,107	1,039,914
貸倒引当金	△26,485	△36,705
投資その他の資産合計	5,359,822	5,332,204
固定資産合計	22,671,176	21,705,981
資産合計	27,840,757	26,327,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	577,705	637,654
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	536,136	494,484
未払法人税等	18,753	101,768
賞与引当金	59,618	25,080
役員賞与引当金	6,350	4,762
資産除去債務	-	451,141
1年内返還予定の預り保証金	2,733,218	526,921
その他	331,607	301,952
流動負債合計	4,313,389	2,623,765
固定負債		
長期借入金	1,795,942	1,425,079
役員退職慰労引当金	243,968	255,766
退職給付に係る負債	160,331	165,733
長期預り保証金	3,877,716	5,464,219
資産除去債務	794,127	345,542
その他	118,770	91,688
固定負債合計	6,990,855	7,748,028
負債合計	11,304,244	10,371,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	870,956	871,061
利益剰余金	12,041,071	11,668,321
自己株式	△496,828	△494,970
株主資本合計	13,817,198	13,446,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750,152	512,659
退職給付に係る調整累計額	△37,884	△36,227
その他の包括利益累計額合計	712,267	476,432
新株予約権	6,595	7,132
非支配株主持分	2,000,450	2,025,255
純資産合計	16,536,512	15,955,232
負債純資産合計	27,840,757	26,327,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	6,274,976	6,419,590
売上原価	4,981,795	5,507,740
売上総利益	1,293,181	911,850
販売費及び一般管理費	1,168,679	1,148,956
営業利益又は営業損失(△)	124,501	△237,106
営業外収益		
受取利息	7,919	2,696
受取配当金	85,525	71,890
補助金収入	-	40,632
その他	35,600	36,280
営業外収益合計	129,046	151,499
営業外費用		
支払利息	33,341	24,584
持分法による投資損失	11,429	31,138
その他	72,677	23,987
営業外費用合計	117,448	79,710
経常利益又は経常損失(△)	136,099	△165,317
特別利益		
新株予約権戻入益	8,972	-
特別利益合計	8,972	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	5,752
関係会社株式評価損	25,000	-
特別損失合計	25,000	5,752
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,071	△171,070
法人税、住民税及び事業税	157,348	195,444
法人税等調整額	△137,961	△250,743
法人税等合計	19,387	△55,298
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,684	△115,771
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,653	35,156
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,031	△150,927

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,684	△115,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,423	△237,149
繰延ヘッジ損益	1,254	—
持分法適用会社に対する持分相当額	23,690	△6,304
その他の包括利益合計	181,367	△243,454
四半期包括利益	282,051	△359,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,698	△386,763
非支配株主に係る四半期包括利益	70,353	27,536

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,071	△171,070
減価償却費	1,103,584	1,392,693
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,858	13,078
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,626	△34,538
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,430	△1,587
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,104	5,402
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,894	11,798
受取利息及び受取配当金	△93,445	△74,586
支払利息	33,341	24,584
持分法による投資損益(△は益)	11,429	31,138
投資有価証券評価損益(△は益)	-	5,752
関係会社株式評価損	25,000	-
売上債権の増減額(△は増加)	102,763	△15,925
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,385	3,317
仕入債務の増減額(△は減少)	35,260	59,948
預り保証金の増減額(△は減少)	△562,254	△619,793
その他	△179,203	50,268
小計	461,753	680,478
利息及び配当金の受取額	94,579	75,969
利息の支払額	△32,824	△24,584
法人税等の支払額	△425,480	△123,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,027	608,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	207,907	30,000
有形固定資産の取得による支出	△690,980	△435,325
有形固定資産の売却による収入	9	1,012
投資有価証券の取得による支出	△336,651	△60,384
投資有価証券の売却による収入	143,064	-
定期預金の増減額(△は増加)	△8,156	10,043
貸付けによる支出	-	△700
貸付金の回収による収入	5,230	4,470
その他	135,796	△7,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543,780	△458,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	550,000	560,000
短期借入金の返済による支出	△530,000	△530,000
長期借入れによる収入	1,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△434,579	△412,515
配当金の支払額	△182,444	△221,822
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
その他	△92,743	△76,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	307,501	△683,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138,251	△533,489
現金及び現金同等物の期首残高	3,037,437	2,434,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,899,185	1,901,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,564,456	1,811,655	701,271	6,077,383	197,593	6,274,976	—	6,274,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,483	202,746	—	209,229	379,951	589,181	△589,181	—
計	3,570,940	2,014,401	701,271	6,286,613	577,544	6,864,158	△589,181	6,274,976
セグメント利益 又は損失(△)	△52,328	127,460	52,307	127,438	37,024	164,463	△39,962	124,501

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	3,793,863	1,715,613	663,355	6,172,832	246,758	6,419,590	—	6,419,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	202,746	44	209,091	75,716	284,807	△284,807	—
計	3,800,163	1,918,359	663,399	6,381,923	322,474	6,704,397	△284,807	6,419,590
セグメント利益 又は損失(△)	△7,556	△299,074	60,921	△245,709	8,991	△236,718	△388	△237,106

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。